

東海環状自動車道 ようろう 養老トンネル施工技術検討会(第2回) 結果概要



◇日 時：2026年10月16日(金) 10:30～14:30
◇場 所：養老トンネル北工事(岐阜県海津市)
◇委 員：日下 敦(国立研究開発法人 土木研究所 つくば中央研究所 道路技術研究グループ(トンネル) 上席研究員)
八嶋 厚(国立大学法人 東海国立大学機構岐阜大学 工学部 特任教授)
林 久資(摂南大学 理工学部 都市環境工学科 准教授) 他

《主な意見》

- 掘削済区間について、水抜きボーリングや止水のための補助工法などの実施、湧水処理設備の増強により、適切な施工がされていることを確認。
- 先進する避難坑により得られた地質情報などを本坑の施工に活用ができることを確認。
- 先進する避難坑により水抜き効果が発揮され、本坑施工の安全に寄与していることを確認。
- 断層や亀裂の状態など地質の予測及び湧水発生位置の特定は難しいが、引き続き、状況を確認のうえ、水抜きボーリングや補助工法の実施により、安全に十分に配慮し工事を進める必要がある。



現場確認状況



検討会状況

東海環状自動車道 養老トンネル施工技術検討会(第2回)の開催について

(2026年10月16日)

国土交通省中部地方整備局と中日本高速道路株式会社名古屋支社は、2026年10月16日に、東海環状自動車道 養老トンネル施工技術検討会(座長:日下敦 国立研究開発法人 土木研究所 つくば中央研究所 道路技術研究グループ(トンネル)上席研究員)を開催しました。検討会では、東海環状自動車道養老トンネルの調査・設計・施工などについて審議を行いました。

1. 議事要旨

(1) 施工状況等について

- ・2026年9月末時点において、岐阜県側が避難坑で2,159m、本坑で2,086m 三重県側が避難坑で1,991m、本坑で1,918m 掘削が完了。
- ・避難坑において、多量湧水による天端崩落、水圧・土圧の影響と思われる内空変位・盤ぶくれが発生したが、水抜きボーリングや崩落対策として AGF 等の補助工法等を実施し掘削を継続。

(委員からの意見)

- ・掘削済区間について、水抜きボーリングや止水のための補助工法などの実施、湧水処理設備の増強により適切な施工がされていることを確認。
- ・突発湧水を伴う天端崩落や、盤ぶくれが生じる懸念が今後残るため、引き続き対策工を実施していくことが必要。
- ・今後も断層や亀裂の状態など地質の予測が難しく、残る掘削区間における湧水発生位置の特定は困難。

(2) 前回意見の検討状況について(避難坑掘削により得られたデータを本坑施工に活用)

- ・避難坑と本坑の切羽部では岩種の変更点に傾向を確認。
- ・避難坑と本坑の湧水発生地点は、同一断面付近(横断方向)。また、湧水量は本坑の方が少ない傾向。

(委員からの意見)

- ・避難坑の地質は、本坑の地質とある程度の相関関係があることを確認。先進する避難坑の支保パターン、補助工法の実績を本坑で活用することは可能。
- ・避難坑が先進することにより、水抜き効果が発現しているものと推察。

(3) 今後の進め方について

(委員からの意見)

- ・残る掘削区間において、引き続き、切羽前方の水抜きや補助工法などを実施するなど安全に十分に配慮した掘削工事が必要。
- ・引続き先進する避難坑の掘削により得られた地質情報や水抜きの効果を本坑の施工に活用し、効果的で効率的な施工を進める。
- ・残掘削区間のデータについても、これまで同様にとりまとめること。

以 上

東海環状自動車道 養老トンネル施工技術検討会

委員名簿

座 長	日下 敦	国立研究開発法人 土木研究所 つくば中央研究所 道路技術研究グループ（トンネル） 上席研究員
委 員	八嶋 厚	国立大学法人 東海国立大学機構 岐阜大学 工学部 特任教授
委 員	林 久資	摂南大学 理工学部 都市環境工学科 准教授
委 員	佐溝 健治	国土交通省 中部地方整備局 岐阜国道事務所 副所長
委 員	和田 春樹	国土交通省 中部地方整備局 北勢国道事務所 副所長
委 員	海瀬 忍	中日本高速道路(株) 技術本部・高度技術推進部 専門主幹（トンネル担当）
委 員	矢田 浩規	中日本高速道路(株) 名古屋支社 岐阜工事事務所 副所長
委 員	間井 博行	中日本高速道路(株) 名古屋支社 四日市工事事務所 副所長
[委 員	桑原 良輝	国土交通省 中部地方整備局 岐阜国道事務所 副所長]
[委 員	田中 勝	国土交通省 中部地方整備局 北勢国道事務所 副所長]
[委 員	稲垣 太浩	中日本高速道路(株) 名古屋支社 岐阜工事事務所 副所長]
[委 員	今泉 尚久	中日本高速道路(株) 名古屋支社 四日市工事事務所 副所長]

（[]は交替委員前任者および当時の所属）

【敬称略】